

探究すること

このところ、完全下校時刻の午後5時を過ぎるとあたりは急に暗くなっていきます。今年は、11月に入っても平年気温よりも高い日が続いたり不安定な気候ですが、下旬になってからは朝晩の気温もずいぶんと低くなり、いよいよ冬本番となってきました。

さて、11月20日(月)の朝、ちょうど生徒が登校する時間帯に虹が出ていたのを見られましたか。一部分だけの虹は見かけることがありますが、きれいな半円形の虹は珍しいと思い写真に撮りました。

ここで問題です。そもそも、虹はなぜ7色か、虹ができる仕組みをご存じでしょうか。

虹は、夕立などがあつたとき、空気中に浮かんでいる小さな水滴の中を、太陽光が通ることによって現れます。太陽光は白っぽく見えますが、中にはいくつかの波長の異なる光が含まれています。太陽光が空気中に浮かぶ水滴を通るときに「光の反射」や「光の屈折」という現象が起こります。すると、それぞれの波長の光が違った角度で屈折し、少しずつずれた方向に進むので、赤や橙色などいろいろな色の光に分かれます。このような現象を「光の分散」といいます。通常の虹の色は、外側から順に赤、橙、黄、緑、青、藍、紫の7色です。

普段何気なく見かける虹ですが、虹ができる仕組みを調べてみると、そこには「光の反射」や「光の屈折」、「光の分散」などさまざまな自然事象が関係していることがわかります。

普段当たり前のように見過ごしてしまうこと、わかりきったことと思いついてしまふようなことを、「なぜ」「どうして」と疑問に感じ、自ら調べてみるのが探究の第一歩です。探究することにより新たな発見や気づきがあり、さらに知識が増え、理解が深まります。ぜひ日頃の学習活動でも活かしてほしいと思います。

2学期も終盤となりました。これから1, 2年生は、学習や部活動にしっかり取り組み力を蓄えていく時期です。そして、3年生は希望進路の実現に向け、まさに勝負の時期となります。それぞれの学年が今の自分としっかり向き合い、困難にも立ち向かいながら、「一生懸命に努力すれば必ず報われる」「努力は決して無駄にはならない」という言葉を信じて、地道に努力を積み重ねてほしいと思います。

校長 岡本 英明
学校だより(12月号)より

